

第 9 回 新宿駅周辺地区交通バリアフリー推進部会

議 事 要 旨

議事内容

1. 議事次第

- 1) 平成 20 年度特定事業計画の進捗状況について
- 2) 新宿駅周辺地区鉄道駅の調査について

2. 主な議事内容

バリアフリーの施設整備について

- ・ 施設のバリアフリー化を進めるにあたって、より使い勝手を良くするため、整備する前に、高齢者や障害者の人たちと現場検証などできるとよい。

多機能トイレについて

- ・ 多機能トイレには、オストメイトの方のための汚物流しや、大人のおむつ交換にも対応できる折りたたみ式のおむつ替えシートなども原則設置して欲しい。
- ・ 多機能トイレはスペースを取るため多くを設置することができないので、多機能トイレの各種設備を一般のトイレに分散して整備することも検討する必要がある。また、弱視者、聴覚障害者への対応など様々な工夫も今後必要となるだろう。なお、こうした整備は空港の施設で進んできている。

エレベーターについて

- ・ 最近ではベビーカーの利用も増えてきている。今後、ベビーカー利用時の安全や利用上のルールについても考える必要があるだろう。
- ・ 車いす利用者にとって、エレベーターは特別に整備される設備ではなく、当然に整備される設備である。

有人改札のカウンターについて

- ・ 車いすのために、高さの低いローカウンターの整備を進めて欲しい。

車いすスペース設置車両について

- ・ 1 編成（列車）当たりの設置数を増やして欲しい。
- ・ 各社でバラツキのある設置位置を統一して欲しい。

歩道の舗装材について

- ・ 低振動の舗装材は、車いすでの走り心地が大変よい。

バリアフリーの自己評価について

- ・ 国交省で鉄道駅のバリアフリー状況の評価をしているので、それを参考に各事業者が自己の施設のバリアフリー状況を点検してみるとよいのではないかと。

道路の調査について

- ・ 今年度は鉄道駅の現地調査をしたが、来年度は道路の調査をしてはどうか。

バリアフリーの情報提供について

- ・ 新宿駅は来街者も多いので、バリアフリーの情報提供についても考えていく必要があるだろう。

地下街のバリアフリー化について

- ・ これまで考えてきた地上部とともに、地下街のバリアフリー化についても考えていく必要がある。